



現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

チリ稲門会について

チリ稲門会の設立は2008年12月。現在の参加人数は35人程度です。前回、本誌に登場した12年と比較しても、会員数は着実に増加しています(その時は22人でした)。これも校友の活躍があってこそだと思います。最近では金属資源開発に関わる若手メンバーが増えているのも特徴です。

主な活動は、頻繁に開催する懇親会やチリ三田会との早慶戦バーベキュー。直近ではゴルフ大会を企画しており、日本の裏側とはいえ、活動は非常に盛んです。年齢、職種などに関係なく、会員の関係が密でお酒の席が楽しいことが特徴であり、この会の自慢です。私たちのような若手が言うので間違いありません!! 幹事長として今後もこの雰囲気を保ちつつ、さらに稲門会を盛り上げていきたいと思っています。

戸井龍太郎(2013年創造、15年創造研修)、鈴木慎哉(2013年創造、15年創造研修)



およそ2カ月に1度開催される懇親会

チリの魅力

が併存しています。日本人にうれしいのは海産物が豊富なこと。新鮮な野菜・果物も多品種です。加えてワインは高品質ながら廉価で、ワイナリー巡りはお手軽なレジャーです。

Bienvenido a Chile! (チリへようこそ!)
秋葉雅宏(1986年商学)

(左)パタゴニアのトーレス・デル・バイネ国立公園
(右)首都サンティアゴからアンデス山脈を望む



会長メッセージ

銅、リチウムといった鉱物資源関連、サケの養殖といった水産資源関連、世界に誇るアルマ望遠鏡プロジェクトなどさまざまな業種にわたって活躍しています。我がチリ稲門会は会員数35人程度の小さな所帯ですが、抜群の参加率(と酒量)を誇ります。日本から遠く離れたこの地で改めて稲門愛を認識する会員が多いでしょう。縁あってこれからチリにいらっしゃる皆さま、チリ稲門会がお待ちしています。

東 秀晃(1995年政経)

会員からのメッセージ

料理店であり、中華料理店なのです。他校のOB会は、ステーキハウスやおしゃれなレストランで開催されているようで、たまにばかにされますが、そんなことは気にしません。チリにお越しの皆さま、ぜひチリ稲門会にお声掛けください。おいしい韓国・中華料理店の、白ワイン(まれにマッコリ)、赤ワイン(まれに火鍋カスンドゥップ)で乾杯しましょう。このように書いて、(稲門)会食がしたくなってきました(わが家では家族に「今日は(稲門)会食がある」と言っています)。

小林淳一(2009年社学)

チリと聞いて想像するのは、細長い国、ワイン、鉱山落盤事故……くらいのものでしょうか。かくいう私もチリに来るまでほとんどイメージはありませんでしたが、日本から遠く離れた当地でも、楽しく盛んに稲門会活動をしています! 進取の精神を表す、早稲田の充実した留学網のおかげで学生時代にこの地に留学しては7年。今度は駐在でチリ稲門会にお世話になり、所属や年齢の垣根を軽々と越えてお酒を酌み交わせることは、早稲田で良かったと思う瞬間の一つです。休暇、留学、移住、駐在、どんな動機でもチリにお越しの際は、ぜひチリ稲門会にご連絡ください!

石井絵美子(2014年国際教養)

日本とチリの交流の歴史は古く、2017年に修好通商航海条約締結120年を迎えました。歴史好きの皆さんの中には、日露戦争で日本海海戦を大勝利に導いた防護巡洋艦「和泉」が1894年にチリ海軍から購入した「エスメラルダ」号であったことをご存じの方もいらっしゃるでしょう。時を経て、日本と太平洋を挟んだ隣国チリとの間では、海上自衛隊とチリ海軍の交流が続いています。

当地の日本人は、決して多くはないですが、

チリは気候風土ともに変化に富んだ美しい南米大陸の国です。日本との直線距離は約1万7,000キロメートルもありますが、間には太平洋しかない隣国なのです。単に経済関係があるだけでなく、親日的でわが国の文化や歴史、言語に深い関心や敬意を持つチリ人も多くいます。知れば知るほど好きになっていく、不思議な魅力を持った国がチリなのです。

そんな魅力的なチリでは稲門会のメンバーが各分野で元気に活躍しています。何かと言い訳を探しては集まり、気炎を上げています。おとしは大使公邸で三田会との合同懇親会を開催し、家族を含め100人弱の方々が参集し、楽しく盛り上がりました。これから当地に赴任される方は、稲門会活動への参加もどうか楽しんでください。

平石好伸(特命全権大使、1980年政経)

世界各地の稲門会は、どのような頻度・会場で懇親会を開催しているのでしょうか? チリ稲門会は2~3カ月に一度、韓国もしくは中華料理店で開催しています。チリは韓国・中華料理がおいしいのかと思われた皆さま。違います! われわれは、『紺碧の空』と校歌を歌いたいです! 稲門会の会員と楽しみたい、そして最後に拳を上げてみんなで歌いたい! それを許してくれる、個室のあるレストランが韓国

(上)イースター島のモアイ像
(下)チリ北部のアタカマ砂漠

